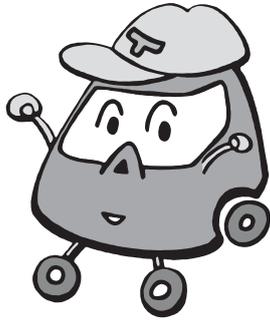


# 兵ト協ニュース

2010.1 No.282





## もくじ

○ 年頭のご挨拶	1
○ 行政からのお知らせ	
(国土交通) 自動車事故報告規則の一部改正及び自動車運送事業者等が引き起こした社会的影響が大きい事故の速報に関する告示の制定について	9
平成21年度 整備管理者選任前研修の実施について(最終増回)	12
(環 境) 平成21年度 関西エコオフィス大賞募集	13
内窓を付けてエコ・アクション・ポイントをもらおう	15
(全ト協) 賃金交渉期における賃金・労働セミナー開催のご案内について	17
2009(平成21年)全日本トラック協会 今年の重大ニュース(順不同)	20
○ 事務局からのお知らせ	
運行管理者試験事前講習会開催のご案内	22
環境と物流を考えるシンポジウムを開催しました	24
ドライブレコーダ導入助成対象機種が追加されました	25
安全装置等(バックモニター)導入助成対象機種が追加されました	25
○ 天狼会のページ	26
○ 陸災防のページ	
フォークリフト運転技能講習会のお知らせ	27
○ 会員だより	31
○ 協会日誌	34

# 謹 賀 新 年

新春を迎え ますますのご発展とご多幸を心からお祈り申し上げます  
本年もよろしくお願ひ申し上げます

— 平成二十二年元旦 —



社団法人 兵庫県トラック協会

会 長	福 松	永 原	征 丈	秀 夫
副 会 長	出 亀	雲 田	昌	武 廣
”	北 坂	野 尾	洋 武	穰 南
”	森 太	川 田	啓 喜	夫 三
”	荻 北	野 村	一	平 良
”	北 役	職 員	一	同
専務理事				
常務理事				
”				



## 年 頭 の ご 挨拶

社団法人 兵庫県トラック協会  
会 長 福 永 征 秀

新年明けましておめでとうございます。

平成22年の新春を迎えるにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

会員事業者の皆様におかれましては、社員の皆様ならびにご家族の皆様がお揃いでお健やかに新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

さて、私どもトラック運送事業者は、国民生活、産業活動を支える公共的物流サービスの担い手として、その重要な使命を果たすべく懸命に努力しておりますが、平成2年の規制緩和以降、運賃が下落する一方で、社会との共生に欠かせない「安全確保」や「環境対策」などのコスト増、更に近年の燃料価格高騰などが適正な価格転嫁もままならない中、米国の金融破綻に端を発した世界同時不況の影響により、深刻な荷動きの減少に見まわれ、多くの事業者が疲弊し、業界全体が深刻な経営危機に直面いたしています。

一方、政府ではこのような経済不況に対応するため、中小トラック事業者構造改善支援事業・中小企業緊急雇用安定助成金等各種助成・補助事業が導入され実施されたところではありますが、昨年の国政における政権交代にともない、今後の、政治・経済面において予断を許さない状況が続くものと推測いたします。

私どもトラック運送事業者は、我が国の産業活動や国民の暮らしを支えるなど、国内物流に不可欠な公的な基幹産業であり、トラック業界の課題である社会と共生しその役割を果たしていくことが大切であり、諸課題の解決に向けて、次の対策を推進して参ります。

第一に、適正化事業の推進であります。

荷主ニーズの多様化・高度化、輸送の安全や環境対策など社会的要請の高まりに答える中で、安全で良質な輸送サービスを通じて、トラック輸送の信頼を確かなものとするため、昨秋、全ト協が示したトラック事業における総合安全プラン2009に基づき、事業者に対する巡回指導や運輸安全マネジメントの積極的な導入、更に安全性評価事業（Gマーク）の取得・啓発などにより秩序ある競争の実現を図るとともに、荷主企業との適正な取引の維持に向け積極的な啓発・広報活動を推進して参ります。

第二に、環境対策です。

近年、環境対策は人類共通の重大かつ緊急な課題であります。

私どもトラック運送業界にとりましても、環境問題は、社会と共生していく上でも最も重要な課題の一つであります。

特に、地球温暖化対策・CO<sub>2</sub>削減問題は、我々人類が直面している重大な問題です。

全世界の温室効果ガス排出量の大部分は、石油等の化石資源に由来する燃料の燃焼に伴う二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の排出で占められています。

日本の部門別CO<sub>2</sub>排出量では、運輸部門は全体の約20%であり、その約9割が自動車です。

これらのことから、トラック業界では、CNG車などの低公害車や最新排ガス規制適合車の導入促進、エコ・ドライブやアイドルリング・ストップの励行ほか、環境改善のための効果的な施策を積極的に推進するとともに、関係機関と連携しながら適切な措置を講じてまいります。

また、トラック運送事業者が取り組み容易な「グリーン経営」について、その認証取得を積極的に推進してまいります。

第三は、交通事故防止・労働災害防止等の安全対策であります。

交通事故や労働災害を防止することは、トラック運送業界に課せられた重要な使命の一つであり、環境問題とともに社会的規制の両輪といわれるほど重要な課題であります。

特に交通事故は、人的・物的両面での損害をもたらすばかりでなく、社会的にも深刻な問題となることは明白であり、交通事故防止のためには、過労運転・速度超過・過積載運行・積荷の固縛不足など事故誘発の原因となる事項の排除が必須であります。

したがって、我々トラック運送業界挙げて、交通事故並びに労働災害防止運動を積極的に展開し、事業者の皆様方各々が運行・整備・健康など様々な管理を万全なものとし、究極の目標である「事故ゼロ」を推進することが、社会と共生していくために重要かつ最善の策であると確信しております。

この対策として、「運輸安全マネジメント」制度が創設され、代表者が安全に関する意識を明確に持ったうえでトップダウンにより、全社をあげて取り組むことが義務化されましたので、兵庫県トラック協会といたしましても、この徹底を図ってまいります。

私どもトラック運送業界では、様々な規制と経済不況に伴う非常に不安定な状況下で、業界が抱える多くの重要な課題を一つずつ確実に改善し、解決して参りたいと存じます。

つきましては、トラック運送業界が我が国の生産活動並びに国民の暮らしに欠くことの出来ない基幹産業であることをご認識いただき、業界の確固たる基盤を確立した上で、堅実に発展していくために、会員事業者皆様の深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 年 頭 の ご 挨拶

社団法人全日本トラック協会  
会 長 中 西 英 一 郎

全国の会員事業者の皆様はじめ関係各位には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。平成22年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、内外にわたって経済や政治情勢が大きく変化し、まさに「激動の年」となりました。一昨年秋に発生した世界的金融危機からの早期脱却が期待された世界経済は、前半の一層急速な後退、深刻化を経て、後半はアジアの回復を中心に、底打ち、持ち直しの動きも指摘される展開となりましたが、雇用や需要不足の問題を含め、総じて未曾有の厳しい情勢が続きました。我が国経済も、同様の推移を辿りましたが、年末にかけての円高、デフレ傾向の強まりなど、厳しい年越しとなりました。

一方、政治の分野では、「チェンジ」をスローガンとした米国オバマ政権の誕生が世界を賑わせましたが、我が国でも真夏の総選挙を通じて、民主党を中心とした新政権が誕生し、文字どおりの「政権交代」が行われるに至りました。

新年は、こうした大きな変化の中から、世界規模の経済回復をはじめ、新たな安定、発展への道筋が明確に描かれる年となることが強く期待されるところであります。

こうした状況の中、トラック運送業界においても、荷動きの極端な落ち込みをはじめとして、これまで経験したことのない、極めて苦しい一年を過ごしました。これは、昨年、規制緩和後をはじめ事業者数が減少に転じ、車両数も大きく減少したことなどにも、明確に表れています。こうした当面の危機突破に向けた業界要望を受け、高速料金の昼間一律3割引きの導入や、中小トラック事業者に対する累計150億円の緊急助成、資金繰り対策のための金融支援などの国としての新たな諸対策も相次いで打ち出され、実施されました。また、国土交通省においては、規制緩和後20年を経たトラック産業の現状をあらためてレビューし、規制を含めて、その将来のあり方を検討する方針を明らかにされたところで、本年はその具体的着手が期待されるところであります。

また、22年度の税制については、焦点となっていた自動車関係諸税の暫定税率廃止は、深刻な税収不足、財政危機の中で、重量税の一部軽減を除き、残念ながら実質見送りとなりました。同時に、強く反対した地球温暖化対策税（環境税）の導入も見送られることとなりましたが、これについては「23年度の実施に向けて成案を得るべく更に検討」との方針も明らかにされております。中小企業投資促進税制や業界の公益的事業の財政基盤である運輸事業振興助成交付金は、その重要な意義が認められ、従来通り継続されることとなりました。今回の税制要望は、新政権の全く新たな仕組みの中、手探りで進めた面もありましたが、全国各協会の皆様と文字通り心も力もあわせて、強力な要望活動が展開できましたことこそ、今後の対応に向けて、業界として最大の成果ではなかったかと考えており、あらためて皆様の格別のご協力に対し、心より御礼申し上げます。

業界としての新年の最大の関心事は何と言っても経済、景気の本格回復であり、国の力強い対策実施を引き続き強く要望し、当面の危機を乗り越えていかねばなりません。同時に、こうした状況の中にあっても、安全、環境、法令順守、労働力確保など、将来にわたるトラック運送事業の発展を目指して、着実に取り組まなければならない課題は、引き続き山積しております。全日本トラック協会としましては、今後とも業界の叡智と力を結集して、諸課題に全力で取り組んでまいりますので、関係各位の一層のご支援、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたしますとともに、本年の皆さまのご健康、ご多幸を心よりお祈りして新年のご挨拶といたします。



兵庫県知事

井戸敏三

## 元気で安全安心な兵庫をめざして

新年あけましておめでとうございます。

21世紀も10年目、今年には阪神・淡路大震災から15年の節目を迎えます。

これを期に、改めて震災の経験と教訓を伝承する「伝える」「備える」取組とともに、創造的復興を成し遂げてきた兵庫の力を礎に、21世紀の成熟社会を先導する地域づくりを進めましょう。

震災直後に540万人まで減少した人口も、昨年11月、560万人を超えました。今後予測されている本格的な人口減少社会が到来しても、地域社会が活力を失わないよう、兵庫の多様性を生かし、元気な兵庫づくりに取り組まなければなりません。

一つは、安全安心の確保です。台風9号の教訓を踏まえ、山の管理や谷筋の砂防対策などを徹底します。また、新型インフルエンザ対策、緊急経済雇用対策に万全を期します。

二つは、地域活力の増進です。ふるさと自立計画への支援、商店街の活性化、就農促進など、地域の努力を応援します。また、仕事と生活が調和する社会、女性や高齢者の元気を生かせる社会の実現をめざします。

三つは、新時代の先導です。少子化、高齢化、地域偏在とともに進む人口減少などの社会の変化に対応するとともに、市町、県、広域の各段階で、自主自立をめざした改革を進めます。

変化の激しい時代だからこそ、柔軟な発想と行動力で、ともに元気で安全安心な兵庫をつくりましょう。

厳しさも 課題も乗り越え 行く先は 新たな地域の夢結ぶ途



## 平成22年年頭の辞

神戸運輸監理部 兵庫陸運部長  
勝 田 年 和

新年明けましておめでとうございます。平成22年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

最近の日本経済は、海外経済の改善などを背景に、持ち直し傾向が続くことが期待される一方、雇用情勢の一層の悪化や海外景気の下振れなど景気を下押しするリスクも存在する状況にあります。

運輸業界を取り巻く経営環境は、エコカー減税・補助金の交付等の諸施策により、新車の販売台数は若干上向いてきておりますが、少子高齢化による公共交通機関利用者の減少や輸送需要の低迷及び地球環境・地域交通環境改善や安全対策のためのコスト増等、昨年と同様の厳しい状況が続いていくものと認識しているところです。

政府といたしましても、最近の経済状況を踏まえ、中小トラック事業者構造改善支援事業、新車購入・買替促進補助の新設や自動車取得税・重量税の軽減措置等経済対策を講じてきたところですが、トラック業界にとりましては近年の燃料費高騰やデフレによる小売価格の低迷は、中小零細企業が大多数を占める中、極めて厳しい経営状況にあります。

このような中でも、トラック輸送が我が国の経済、日常生活を支える重要なツールであることは不変です。多様化・複雑化する利用者ニーズに対応したサービスの提供はもとより、さらなる安全確保や環境対策への取り組みが求められておりますので、今後とも、たゆまぬ経営努力をお願いする次第です。

運輸安全マネジメント評価については、導入から3年が経過し、事業者においては安全管理体制の構築、安全意識の向上が見られるところです。

昨年10月には、自動車運送事業に係る運輸安全マネジメント実施要領が改正されました。改正点の第一は、運輸安全マネジメント評価対象の拡大（乗合バス100両以上、第1当事者の死亡事故を引き起こした事業者等）。第二点目は第三者機関においても（昨年10月に独立行政法人自動車事故対策機構が認定）安全マネジメント評価が実施できる点、第三点目は事業者向け安全マネジメント手引きがわかりやすく具体的な取組例等（下請事業者の安全管理体制の構築・改善の指導等）を入れて改訂いたしました。

改正実施要領を活用し、引き続き運輸安全マネジメント評価等を精力的かつ効率的に実施するとともに、本制度の浸透・定着に努めてまいります。

また、昨年3月には国土交通省において、「事業用自動車総合安全プラン2009」を策定し、今後10年間で死者数半減、飲酒運転ゼロといった目標を設定しました。運輸安全マネジメント評価対象の拡大、安全体質の確立、コンプライアンスの徹底、IT・新技術の活用などハード、ソフトの両面から、さらに、自動車運送事業の行政処分基準が昨年10月に強化されたことから、安全性重視の事後チェック体制の強化、悪質違反事業者に対する行政処分の強化、重大事故を引き起こす前の安全面の予備的監査体制の強化を引き続き図るとともに、より一層の安全対策を推進してまいります。

トラック事業については、経済不況の中、課題は山積しておりますが、国内物流の基幹的輸送機関としての機能が発揮されるよう、適正化実施機関と連携を図りながらコンプライアンスの徹底、適正取引の推進や、補助制度の活用等による環境対策を推進することにより、今後とも、安全・安心で効率的なトラック輸送の実現を目指してまいります。

兵庫陸運部におきましても、関係団体、関係行政機関等のご協力を賜りながら様々な取り組みを進めてまいりたいと考えておりますので、皆様方のお一層のご支援ご協力をお願い致しますとともに、今年の1年がトラック業界にとって大いなる発展の年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 安全・安心・快適な交通社会の実現を目指して

兵庫県警察本部交通部長

松 田 保

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、ご家族ともども穏やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、交通安全活動をはじめ警察業務の各般にわたり、深いご理解と温かいご支援を賜っておりますことにつきまして、厚くお礼申し上げます。

また、トラック協会の皆様方におかれましては、物流社会の基幹として、国民生活に必要な物資等の輸送を担われ、社会経済の発展に大きく貢献されていますことに深甚なる敬意を表します。

さて、昨年の県下の交通事故の発生状況につきましては、人身事故発生件数、死者数及び負傷者数のいずれもが減少をみておりますが、全死者数に占める高齢者の割合は4割を超えており、今後も高齢者人口の増加に伴い、高齢者が関係する交通事故の増加が懸念されているほか、自転車に関係する交通事故についても年々増加をしているところであり、交通事故は未だ県民生活の安全・安心を脅かす不安要因の一つであると言えますところでもあります。

このような情勢の中、昨年6月1日から道路交通法の改正により、75歳以上の運転者の方が免許を更新する際の講習予備検査が導入され、その検査結果に基づいた高齢者講習を行い、高齢運転者が安全に自動車等を運転することを支援するという制度が始まっております。

また、高齢運転者の支援を主たる目的として、昨年10月1日から高速道路における車間距離保持義務違反（いわゆるあおり行為）に係る罰則が引上げられたほか、本年4月には高齢運転者等専用駐車区間制度に関する規定についても施行が予定されており、高齢者や障害者の方等が運転する普通自動車のみが駐車できる区間が整備されることとなっております。

警察におきましては、増加傾向にある高齢者の関係する交通事故の防止を図るため、関係機関・団体と連携して、改正道路交通法の周知と円滑な施行に努めるとともに、「シルバー・ドライバーズ・スクール」等の参加・体験・実践型の交通安全教室を開催しているほか、平成20年10月1日には、「高齢者運転免許自主返納サポート協議会」を設置し、運転免許を自主的に返納して運転経歴証明書の交付を受けた65歳以上の方に、公共交通機関の運賃割引等の優遇措置を講じるなどの支援施策を推進しているところでもあります。

また、自転車の交通事故の防止に向け、自転車利用時のヘルメット着用や通行方法等について定めた「自転車安全利用五則」の周知を図るとともに、子供や高齢者を対象とした交通安全自転車大会を開催するなど、交通安全意識の向上に努めております。

一方、悪質なドライバーによる交通事故も後を絶たず、特に、飲酒運転に対しましては、断固とした姿勢で臨み、交通指導取締りを徹底し、広報啓発活動を推進するなど、今後も飲酒運転の根絶に向けた取組みを強化して参る所存であります。

現在、社会の様々な場面で規範意識の低下が問題となっておりますが、交通関係機関・団体の皆様方の交通安全に対する取組みは、交通事故の抑止にとどまらず、社会における規範意識の向上、ひいては良好な社会秩序の維持に資するという重要な意義を有するものであります。

どうか、皆様方におかれましても、交通事故の現状を踏まえていただき、模範運転による地域の交通安全意識の高揚に努めていただきますとともに、「安全・安心・快適な交通社会の実現」を目指して、今後、なお一層のご尽力とご支援を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして幸多き年になりますことを心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 年 頭 の ご 挨拶

兵 庫 労 働 局 長

白 川 欽 也

新年あけましておめでとうございます。

社団法人兵庫県トラック協会及び会員各位におかれましては、日ごろより労働行政の推進につきまして、多大なるご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

一昨年秋のリーマンショック以降、我が国の経済・雇用失業情勢は厳しい状況が続いておりますが、政府によるエコカー減税など景気刺激策により生産が一部持ち直す動きもみられます。しかしながら、円高等による先行き不透明感もあり、県内の景気の動向に引き続き注視していく必要があると考えております。

労働基準行政においては、厳しい経済・雇用情勢を反映して、賃金不払、長時間労働、解雇等の申告相談が多数寄せられておりますので、一般労働条件の確保・改善対策など労働条件の履行確保を進めてまいります。

労働災害防止では、平成20年度を初年度とする「兵庫第11次労働災害防止推進5か年計画」に基づき、リスクアセスメントと労働安全衛生マネジメントシステムの普及促進に努めるなど、労働災害の更なる減少に取り組んでまいります。

また、メンタルヘルス対策等の健康確保対策を推進することにより快適な職場づくりの促進を図ります。石綿対策等職業性疾病の防止対策を推進し、石綿取扱い作業等従事者に対する健康管理対策の推進、石綿健康被害救済法並びに労災保険法に基づく労災請求の迅速適正な保険給付の決定に努めてまいります。

なお、最低賃金については、昨年10月8日に地域別を、12月1日に特定（産業別）を改正しましたので、今後は改正した最低賃金の履行確保に努めてまいります。

職業安定行政においては、厳しい経済・雇用失業情勢の中、国民一人ひとりが安全と安心、生きがいを実感できる社会を実現するうえで最も重要な基礎となるのは雇用の確保であることから、政府を挙げて雇用の確保に取り組むため、「緊急雇用対策」を実施しております。

さらに事業主への支援として、労働者の雇用維持や障害者等の採用を行う事業主の方々に対して、雇用調整助成金や特定求職者助成金等を活用した支援を引き続き実施してまいります。

これらの取組を通じて、労働局・ハローワークが県民・地域からの期待に応え、一層の信頼を得られるように全力をあげてまいります。

雇用均等行政においては、妊娠・出産等を理由とする不利益取扱い及びセクシュアルハラスメントに関する相談、紛争解決援助の申立が依然多く寄せられていることから、労働局長の助言、指導、勧告による円滑かつ迅速な紛争の解決を図るとともに、適正な雇用管理の定着に努めてまいります。

また、次世代育成支援対策に積極的に取り組み成果をあげた企業を認定、「くるみん」マークを付与し企業の一層の取組を促すとともに、育児短時間勤務の義務化や父親の育児休業の取得促進策などを盛り込んで昨年改正、本年全面適用される育児・介護休業法を広く周知することにより、仕事と家庭の両立を図る雇用環境の整備を促進してまいります。

これらの施策の実施に当たっては、地元経済団体や企業の皆様方から様々な御意見をお伺いし、地方公共団体をはじめとする関係行政機関とも積極的かつ有機的な連携を図り、時宜に即した効果的な施策を展開してまいります。

貴協会におかれましても、これら諸施策の推進にご理解とご協力を賜り、引き続き、労働行政へのご支援をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、貴協会及び会員各位の皆様方の益々のご発展、ご活躍と本年が明るい年となることを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



# 行政からのお知らせ



## 国土交通

平成21年11月20日  
自動車交通局

### 自動車事故報告規則の一部改正及び自動車運送事業者等が引き起こした社会的影響が大きい事故の速報に関する告示の制定について

国土交通省では、我が国における危機管理意識の高まりに対応し、迅速な行政対応によって類似事故を未然に防止することで、事業用自動車における事故削減を図るため、事業用自動車に係る総合的安全対策検討委員会によりまとめられた『事業用自動車総合安全プラン2009』（平成21年3月）を踏まえ、自動車事故報告規則（昭和26年運輸省令第104号）の一部を改正し、また自動車運送事業者等が引き起こした社会的影響が大きい事故の速報に関する告示（平成21年国土交通省告示第1224号）を制定しましたのでお知らせします。

※ 改正の概要は、別紙参照。

#### 【問い合わせ先】

国土交通省自動車交通局

安全政策課 大森、宅見

電話 03-5253-8111（内線 41622、41623）

直通 03-5253-8566

## 自動車事故報告規則の一部改正及び自動車運送事業者等が引き起こした社会的影響が大きい事故の速報に関する告示の制定について

### I. 改正等の概要

事業用自動車の事故について報告対象及び速報対象等を以下のとおり見直しました。

- ① 事故報告の対象について、従来通達で報告を指示していたものを省令で明確化等しました。
  - ・10台以上の多重衝突を生じたもの
  - ・10人以上の負傷者を生じたもの
  - ・自動車に積載されたコンテナが落下したもの
  - ・酒気帯び運転、無免許運転、大型自動車等無資格運転、麻薬等運転を伴うもの
  - ・救護義務違反があったもの
  - ・車輪の脱落、被牽引自動車の分離の故障を生じたもの
  - ・鉄道施設を損傷し、3時間以上列車の運転を休止させたもの
  - ・高速自動車国道又は自動車専用道路を、3時間以上通行止めにしたもの
- ② 事故速報の対象とする自動車事故を見直しました。
  - ・転覆、転落、火災を起こし、又は鉄道車両等と衝突若しくは接触したもの（旅客自動車運送事業者等に限る。）
  - ・2人（旅客自動車運送事業者等においては1人）以上の死者を生じたもの
  - ・5人（乗客にあっては1人）以上の重傷者を生じたもの
  - ・10人以上の負傷者を生じたもの
  - ・自動車に積載された危険物が大量漏洩したもの（自動車が転覆、転落、火災を起こし、又は鉄道車両、自動車その他の物件と衝突し、若しくは接触したことにより生じたものに限る。）
  - ・酒気帯び運転を伴うもの
  - ・社会的影響が大きなもの
- ③ 速報についてはできる限り速やかに行うこととしました。

### II. 公布日及び施行日

公布 平成21年11月20日

施行 平成21年12月1日

## FAX送信票

神戸運輸監理部 兵庫陸運部（保安担当）あて  
（ F A X 078-431-8761 ）

平成 年 月 日 時 分 現在（24時間表示）

## 事故速報（第 報）

事業者名			
事故発生日時	平成	年	月 日 時 分
事故発生場所			
事故車の登録番号			
死者数	行方不明者数	総負傷者数（ ）内は負傷者数	
名	名	（ ）名	
危険物等の種類		危険物等の積載量	
<漏洩の状況>			
<事故概要>			
情報入手先			
<その他判明している事項>			
【緊急連絡担当者名・連絡先】			
氏名	TEL		

神 兵 整 第 491 号  
平成21年12月18日

社団法人 兵庫県トラック協会会長 殿

神戸運輸監理部兵庫陸運部長

## 平成21年度 整備管理者選任前研修の実施について（最終増回）

時下、益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は国土交通行政につきまして格段のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて今般、標記研修について、整備管理者選任前研修実施要領（近運達甲第7号、平成15年4月18日制定）に基づき、別紙の通り実施することとしましたので、貴傘下会員に対して周知していただくとともに、ご協力方よろしくお願いいたします。

別紙

### 実施日時及び実施場所（H22年1月～H22年3月）

実施日時	実施場所	定員	申請締切り
平成22年1月28日(木) 13:30～16:30	兵庫県自動車整備会館(5階) 神戸市東灘区魚崎浜町33	150	平成22年1月25日(月)
平成22年2月19日(金) 13:30～16:30	姫路自動車整備教育会館(2階) 姫路市飾磨区中島福路町3322	130	平成22年2月15日(月)
平成22年3月3日(水) 13:30～16:30	兵庫県自動車整備会館(5階) 神戸市東灘区魚崎浜町33	150	平成22年2月26日(金)

### 注意事項

- (1) 当日は、免許証等本人の顔写真のある身分証明書を持参下さい。
- (2) 研修開始30分前より受付を開始します。
- (3) 研修は予約制とし、定員になり次第締め切らせていただきます。

お問い合わせ 神戸運輸監理部 兵庫陸運部 整備部門  
TEL 078-453-1103

# 平成21年度 関西エコオフィス大賞募集

はじめてます!

地球にいいこと、ひとつずつ



私たちは、身近なところから地球温暖化防止活動を行う  
「関西エコオフィス宣言」オフィスとして、以下の項目に取り組んでいます。

募集  
期間

平成21年 **12月1日**(火)～平成22年 **2月10日**(水)

夏季の適正  
冷房&軽装勤務

冬季の適正暖房

グリーン購入  
の推進

節電・節水  
の励行

エコドライブ  
の励行

自動車利用  
の抑制

ごみ再資源化

STOP!  
地球温暖化

## 関西エコオフィス宣言

 関西広域機構 <http://www.kansai.gr.jp/ku/>



はじめようエコオフィス運動

チーム・マイナス6%



## 関西エコオフィス大賞とは

関西広域機構(KU)では、地球環境にやさしいオフィス活動を広げていくため、宣言オフィス等の中から特に優れた取り組みを行っているオフィスを、「関西エコオフィス大賞」等として選定し、表彰します。

- 関西エコオフィス大賞 【大企業部門】1事業所 【中小企業・その他団体部門】1事業所
- 関西エコオフィス奨励賞 【大企業部門】数事業所 【中小企業・その他団体部門】数事業所



## 応募資格

- 関西エコオフィス宣言事業所
- ISO14001・エコアクション21・KES(京都市)・M-EMS(三重県)・KEMS(神戸市)・エコ京都21(京都府)・TEAS(鳥取県)の認証・登録事業所
- 上記に該当する事業所が複数で構成する組合・団体



## 応募方法

- 関西エコオフィス大賞応募用紙に必要事項を記載のうえ、具体的な取組内容が分かる資料を添付して、事業所のある府県・政令市の担当窓口へ提出してください。
- 応募用紙は関西広域機構ホームページからダウンロードできます。  
<http://www.kansai.gr.jp/ku/ecooffice/prize.html>



## 審査方法

KU環境部会、選定アドバイザー会議で次の6項目の評価を行い、大賞等を選定します。

- 効 果 …… 省エネ効果・CO<sub>2</sub>削減効果は高いか、効率性・費用対効果が高い取り組みか
- 他への波及可能性 …… 他の事業所(オフィス)でも容易に取り組めるものか、普及しやすい取り組みか
- 創意・工夫の度合い …… 他の参考となる工夫を加え、成果を上げているか
- 組織内での浸透性 …… 従業員に周知・啓発し、オフィスを挙げての取り組みとなっているか
- 継 続 性 …… 継続して取り組んでいるものであるか、今後も継続して取り組めるものであるか
- 他の取り組みに対する評価 …… 主な取り組みのほか事業所活動全般にわたって環境に配慮した事業活動に取り組み、成果を上げているか

※一次審査(書類選考)を通過したオフィスは、二次審査として選定アドバイザーによるヒアリングを実施します。(H22.3月中旬予定)

## 表彰式の様子 (H21.7.7)



平成20年度関西エコオフィス大賞・奨励賞 表彰式

## 〈応募窓口〉KU構成自治体

福井県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県  
奈良県 和歌山県 徳島県 鳥取県 京都市 大阪市  
堺市 神戸市 の関西エコオフィス大賞担当

[http://www.kansai.gr.jp/ku/ecooffice/pref\\_list.html](http://www.kansai.gr.jp/ku/ecooffice/pref_list.html)

## 〈問い合わせ先〉

関西広域機構(KU) 環境・防災部

電話:06-4803-5572

FAX:06-4803-5574

eメール:kansai@kansai.gr.jp

<http://www.kansai.gr.jp/ku/ecooffice/index.html>



関西広域連携エコ・アクション・ポイントモデル事業

うちまど

内窓を付けてエコ・アクション・ポイントをもらおう！



滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県内のキャンペーン協力家電店等で、YKK AP社製の内窓樹脂サッシ「プラマードU」シリーズを購入・設置された方に、エコ・アクション・ポイントを差し上げるキャンペーンを実施しています。

ポイント : 窓1セット\*につき「1,500ポイント」

応募方法 : 申込用紙を郵送（購入時に入手できます。）  
（応募〆切 平成22年3月31日）

※ 最寄りのキャンペーン協力家電店等については、関西広域連携エコ・アクション・ポイント事務局ホームページ（<http://k-co2bank.jp/kansai/>）で御確認ください。

※ ポイントの原資は、YKK AP株式会社が負担されます。

\* 引き違い窓2枚建（幅1.7m×高さ1.1m）1セット 約4万円

※ 「エコ・アクション・ポイント」とは、省エネや環境に配慮した商品・サービスの購入など「エコな行動（アクション）」をすることで獲得できるポイントです。獲得したポイントは、様々な特典と交換できます（エコアクションサイト（<http://eco-ap.jp/>）を御参照ください。）

※ 省エネ家電購入時にももらえる「政府のエコポイント」とは異なりますのでご注意ください。

関西広域連携エコ・アクション・ポイント事務局（京都環境行動促進協議会）

TEL：075-203-7588 FAX：075-211-8896



# 関西・冬の省エネ快適大作戦

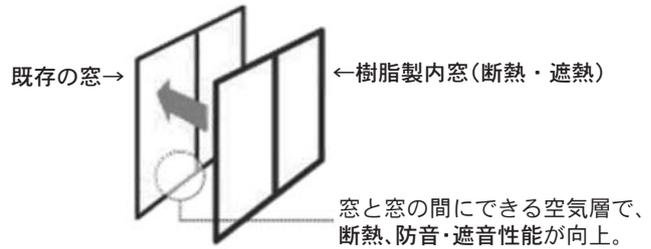
あなたのおうちの**暖房費**窓から逃げていませんか？  
 うち「うちまどサッシ」で**節約**しまっせ！

住宅における暖房は、冷たい空気にさらされる窓から最も熱が逃げています。  
 この冬、窓の断熱効率を高める「内窓樹脂サッシ」で省エネリフォームしてみませんか？  
 今ある窓の内側に、新たに「内窓樹脂サッシ」を取り付けて2重窓にするだけなので、簡単＆低コストで快適エコライフ！

## ★内窓樹脂サッシ・3つの効果

### 1. 省エネ

今ある窓の内側に、熱が伝導しにくい内窓樹脂サッシを取り付けると、窓と窓の間の空気層が室外の冷気を室内に伝わりにくくするため、**断熱効率がUP↑し、暖房費を従来の約半分に抑える**ことができるようになります\*。



※ 内窓サッシとあわせて、省エネエアコンに買い替えた場合

### 2. 結露の抑制

窓と窓の間の空気層が室外の冷気を断熱することで、室内外の温度差が緩和され**結露が発生しにくくなります**。



※ 図：YKK AP 株式会社／ブラマードU

### 3. 防音・防犯

室外から進入する音、室内から漏れる音を大幅にカット（防音）できる他、内側の窓の鍵が増えることで、**ドロボー対策**にもなります。

## ★スピード簡単施工

外壁や柱に手を加えずに、1窓あたり約1時間の工事で快適空間に早変わり！



省エネエアコンの買い換えと組み合わせると、さらに省エネです！

発行：関西広域連携エコ・アクション・ポイント事務局（京都環境行動促進協議会）  
 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県  
 協力：樹脂サッシ普及促進委員会、YKK AP 株式会社

全ト協発第449号(労)  
平成21年11月30日

都道府県トラック協会  
会 長 殿

社団法人 全日本トラック協会  
会 長 中西 英一郎

## 賃金交渉期における賃金・労働セミナー開催のご案内について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の業務運営にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今般、賃金交渉期にあたる年度末を控えまして、トラック運送事業の経営者・管理者を対象に、トラック運送業界が抱える諸問題を解決するための一助として、例年通り標記セミナーを開催することと致しました。本年は、別添次第のとおり、労使の春闘交渉の考え方等を関係団体から講話頂き、また、特別講師として「インサイダー」編集長 高野 孟 氏 をお招きし、混迷する日本の政治情勢におけるタイムリーな話題や今後の見通しなどについてのご講演をいただく予定です。

つきましては、業務ご多忙のところ誠に恐縮に存じますが、貴協会の広報紙等におきまして本セミナー開催の旨ご案内頂く等、会員事業者の出席方についてお取り計らい頂きたく、宜しくお願ひ申し上げます。

敬 具

# 賃金交渉期における賃金・労働セミナー

## 次 第

日 時：平成22年2月15日(月)

10：30～15：40

場 所：全日本トラック協会 大会議室

- |                                   |         |               |
|-----------------------------------|---------|---------------|
| 1. 開 会                            |         | 10：30         |
| 2. 挨拶                             |         | (10：30～10：35) |
| (社)全日本トラック協会                      | 常務理事    | 中 川 登志雄       |
| 3. 講 演                            |         |               |
| (1)「2010年春闘と運輸労連の課題」              |         | (10：35～11：40) |
| 全日本運輸産業労働組合連合会                    | 中央執行委員長 | 山 浦 正 生 殿     |
| ( ～ 休 憩 ～ )                       | - 昼 食 - | (11：40～12：20) |
| (2)「運送業界の労働問題について」                |         | (12：20～13：00) |
| (社)全日本トラック協会                      | 労働部長    | 秋 元 豊         |
| (3)「2010年春季労使交渉～経営側の基本的な考え方 (仮題)」 |         | (13：00～14：00) |
| 全国中小企業団体中央会                       | 労働政策部長  | 小 林 信 殿       |
| ( ～ 休 憩 ～ )                       |         | (14：00～14：10) |
| (4)「どうなる？日本の政治 (仮題)」              |         | (14：10～15：40) |
| インサイダー 編集長                        |         | 高 野 孟 殿       |
| 4. 閉 会                            |         | 15：40         |

## 賃金交渉期における賃金・労働セミナーのご案内

～混迷する日本の政治情勢について、インサイダー編集長・高野孟氏が講演～

トラック運送事業は、国民の暮らしを守るライフライン、また、我が国経済を支える動脈として、貨物輸送の大半を担い、国民生活の向上や産業経済の発展に大きく貢献し、国内物流の基幹産業としての役割を果たしておりますが、業界を取り巻く環境につきましては、運賃水準の下落、高止まりする軽油価格や環境対策などによるコスト負担の増大により、依然として大変厳しい状況にあります。

そのような中、経営に大きく関わります春闘交渉の考え方等について、労使双方の関係団体から講話をいただく本セミナーを今年度も開催させていただきます。

今回は、特別講師といたしまして「インサイダー」編集長 高野 孟 氏 をお招きし、混迷する日本の政治情勢におけるタイムリーな話題や今後の見通しなどについてのご講演をいただく予定です。

是非、この機会に奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

平成21年12月  
社団法人 全日本トラック協会

### ◆ 御 案 内 ◆

〈日 時〉 平成22年2月15日(月) 10:30～15:40(受付 10:00～)

〈場 所〉 (社)全日本トラック協会 大会議室  
東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー19階

〈定 員〉 70名(定員になり次第締切とさせていただきます。)

〈参加費用〉 無 料(昼食をご用意いたします。)

〈対 象〉 都道府県トラック協会会員事業者

〈申し込み〉 受講を希望される方は、以下に必要事項をご記入の上、FAXにて当協会宛にお送りください。申し込みいただいた方に参加証をお送り致します。(当日は参加証をご持参ください)

(社)全日本トラック協会 労働部 宛  
〒163-1519 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー19階  
TEL 03(5323)7626 FAX 03(5323)7230

〈締 切〉 平成22年2月1日(月)必着

-----〈きりとり線〉-----

### 賃金・労働セミナー参加申込書

(社)全日本トラック協会 労働部 行 (FAX:03-5323-7230)

会 社 名	
役 職 名	
氏 名	
所 在 地	〒
連 絡 先	TEL FAX

申込み締切 平成22年2月1日(月)必着

※ お申し込み頂いた個人情報については、当該セミナーの参加者管理を目的として使用いたします。

# 平成21年（2009年）全ト協重大ニュース

## 一. 『世界的な経済不況で国内景気急速に悪化』

世界的な経済不況の影響を受けて、春先にかけて輸送量がかつてない大幅な落ち込みを見せ、全日本トラック協会調査の平成21年1～3月期の景況感も、調査開始以来過去最悪の水準を記録。トラック運送事業者の20年度における年間倒産件数も、366件の前年度比2倍増となり、過去最悪を記録した。

こうしたなか、政府は、厳しい経済情勢を打破するため、20年度第2次補正予算で「高速道路料金大幅引下げ」と「中小トラック運送事業者構造改善支援事業」を実施。さらに、追加経済対策で環境対応トラックへの買い換えに補助金を交付するなど、緊急の経済対策を相次いで実施した。

## 一. 『事故半減に向け「トラック版総合安全プラン2009」』

事業用トラックの事故件数は減少傾向にあり、平成20年の交通事故発生件数2万8838件、死者数450人、負傷者数3万7056人となり、全日本トラック協会が平成18年に策定した「交通安全対策中期計画」の数値目標を2年前倒して達成した。さらに、全日本トラック協会では、新たに「トラック事業における総合安全プラン2009」を策定し、今後10年間で交通事故半減を目指すことになった。

一方、海上コンテナ積載トレーラの横転事故が相次いで発生。社会的な問題となるなか、国は再発防止策として、緊締装置の確実なロックと道路状況に応じた運転時の基本動作順守等の徹底を指導。海コン事故防止の新法検討にも着手した。

## 一. 『深刻化する温暖化等に向け、環境対策一層強化』

大阪府が1月から排出ガス規制を強化し、規制非適合車種に対して、対象地域内への発着を禁止する流入車規制を開始した。当該地域に乗り入れるトラック運送事業者については、厳しい経済情勢のなかで規制適合車への代替に迫られた。

一方、地球温暖化問題が一層深刻化するなかで、トラック輸送分野におけるCO<sub>2</sub>削減は、これまでも一定の成果をあげ、「環境自主行動計画」の数値目標を来年度で達成の見通し。さらなるCO<sub>2</sub>削減に向けて今後も、エコドライブの徹底や低公害車、EMS機器の導入など一層の削減対策を講ずる。

## 一. 『自動車関係諸税をめぐる動き』

政府は平成22年度税制改正大綱を閣議決定し、自動車関連諸税の暫定税率について、一旦廃止したうえで新たな仕組みを導入し、現行水準の税率を維持する方針を示した。自動車重量税については、国分の暫定税率を半分程度に減税する。

一方、軽油引取税に係る運輸事業振興助成交付金については、従来通り継続されることとなった。営自格差の問題など、交付金は有効に使用されており、全日本トラック協会では、交付金の継続を強く要望し、継続運動を積極的に展開していた。

なお、業界が強く反対していた地球温暖化対策税（環境税）については、見送りとなり、平成23年度実施に向けて更に検討が進められることとなった。

## 一. 『高速道路料金の大幅引下げ』

平成20年度第2次補正予算を原資として、トラックについては、平日昼間割引の実施や夜間割引時間帯の拡大など高速道路料金が大幅に引下げ。併せて、普通車対象の土日祝上限1000円が実施され、各地で渋滞が頻発。荷物の延着や長時間労働などトラックの運行にも大きな影響が生じた。

これを受けて全日本トラック協会は、普通車上限1000円の適用拡大見合わせ、大混雑・大渋滞の緩和策の検討、大型車用の駐車・休憩スペースの確保などを国に要望。この結果、お盆時期にはトラック等に対して8日間限定終日5割引が適用されるとともに、駐車・休憩スペースの確保

対策も講じられた。

## 一. 『政権交代で民主党・鳩山政権誕生』

第45回衆議院議員選挙で民主党が戦後最大の308議席を獲得。民主・社民・国民新党3党連立の鳩山新政権が誕生した。16年ぶりの政権交代で、日本の政治の歴史に新たな1ページが加わった。

国土交通省人事では、前原誠司国土交通大臣、馬淵澄夫、辻元清美両副大臣、三日月大造政務官らが政務3役に就任、積極的な活躍ぶりが目立った。

全日本トラック協会は、中西英一郎会長を先頭に、政府与党に対して、全国の各協会ともども業界が一丸となって活発な要望活動を展開した。

## 一. 『新型インフルエンザの世界的流行』

4月にメキシコで発生した豚由来の新型インフルエンザが世界的に大流行し、5月にはわが国でも感染が確認された。全日本トラック協会は直ちに新型インフルエンザ対策プロジェクトチームを設置。「新型インフルエンザ対策ガイドライン」を策定し、緊急対策マニュアルを全会員に配布した。各運送事業者も、マスクや消毒液の確保をはじめ、手洗いやうがいの励行など、感染防止対策に追われた。

## 一. 『規制緩和見直しに向け、初の検証始まる』

「トラック産業の将来ビジョン」の策定に向け、国土交通省の勉強会が開催された。運賃・コスト等実態調査を踏まえ、多層的下請構造や最低保有台数など、初の規制緩和の検証作業が始まる。

一方、「正直者がバカを見ない」事業環境の整備に向けて、「ルール無視」の事業者根絶のため、国土交通省は、10月1日から監査方針・行政処分基準および行政処分逃れを防止するため監査体制を強化した。

## 一. 『トラック運送業界の構造変化が浮き彫りに』

平成21年3月末のトラック運送事業者数が、規制緩和以後初の減少。前年度末比230者減の6万2892者となり、車両数も約4万台減少した。

また、平成20年の大型運転免許試験合格者数は、前年比約6割減の4万8640人となるなど、若年就業者の減少が続くなか、将来のドライバー不足への拍車懸念が拡大している。

## 一. 『役割を増す適正化事業と「Gマーク」の普及』

12月、三日月大造国土交通大臣政務官が適正化事業指導員の巡回指導を視察。適正化事業の重要性をあらためて評価した。国土交通省幹部による巡回指導の視察は初めてとなる。

平成21年度貨物自動車運送事業安全性評価事業については、4200事業所が認定された。これにより、21年12月現在、全国での認定事業所数は合計1万3190事業所となり、車両ベースで見た場合、事業用トラックの33.2%にのぼる。「Gマーク」制度は創設7年目を迎えるなか、着実に浸透している。

## 番外. 『多様なメディアを活用し、活発な広報展開』

全日本トラック協会は、機関紙「広報とらっく」の大判化をはじめ、ホームページの充実、テレビCM素材の制作など、各種メディアを駆使して広報活動を活発に展開した。さらに、フラッシュアニメ「もしもトラックが止まったら」シリーズのコンビニ編が、動画サイト「YouTube」のおすすめ動画に選ばれ好評を博した。トラックの日には、携帯サイトへの広告掲載、「トラックもライフライン」をテーマとしたポスターの作成と、大手全国紙への全面広告も掲載した。

以上

## 事務局からのお知らせ

### 運行管理者試験事前講習会開催のご案内

平成22年3月7日(日)に開催されます平成21年度第2回運行管理者試験を受験される方を対象に、運行管理者試験事前講習会を下記の通り開催致しますので、ご案内申し上げます。

参加を希望される方は、申込書(次ページ別紙)をコピーのうえ、2月26日(金)までにFAX(078-882-5565)にてお申し込み下さい。

なお、定員(180名)に達し次第、締め切らせていただきます。

#### 記

1. 日時 平成22年3月2日(火) 13時から17時
2. 場所 兵庫県農業会館 神戸市中央区海岸通1番地



※尚、駐車場はございませんので公共交通機関をご利用下さい。

(注) 運行管理者試験問題集を教材として使用いたします。

なお、教材となる右の問題集は当日会場にて、協会一括購入価格2,050円で販売いたします。

(既に問題集を購入されている方は、当日ご持参下さるようお願いいたします。)

#### 【使用する問題集】

運行管理者試験(貨物)

受験対策問題集

解答・関係法令付き

第23版[平成21年5月改訂]

日通総合研究所

カーゴニュース



問い合わせ (社)兵庫県トラック協会 適正化事業部  
TEL 078-882-5556 FAX 078-882-5565

(別 紙)

## 運行管理者試験事前講習会申込書

(社)兵庫県トラック協会  
適正化事業部 宛  
(FAX 078-882-5565)

ふりがな

---

受験者名

---

会社名

---

電話番号

---

## 環境と物流を考えるシンポジウムを開催しました

11月27日、兵庫県神戸市の神戸海洋博物館ホールで、「『環境と物流を考える』シンポジウム～パートナーシップの構築による環境改善と物流効率化の推進を目指して～」を開催しました。

シンポジウムは、物流事業者、荷主企業、行政・地域団体の三位一体による取り組みについて、広く一般の方にも周知することが目的。会場では、基調講演やパネルディスカッションなどが行われ、約200名の方が参加されました。

基調講演では、神戸大学大学院教授の小谷通泰氏が「環境改善と物流効率化～三位一体によるパートナーシップの構築～」をテーマに講演。

また、事例報告として、井阪運輸(株)代表取締役社長の長井優児氏が「環境に配慮した先進的取り組み」と題し、発表を行いました。

パネルディスカッションでは、小谷氏がコーディネーターを務め、物流共同化、自営転換、低公害車の導入、パートナーシップのあり方などの観点から意見を交換しました。

### プログラム

#### ■ 基調講演

〈講師〉 小谷 通泰 氏 神戸大学大学院 海事科学研究科 教授

〈テーマ〉 『環境改善と物流効率化』

～ 三位一体によるパートナーシップの構築 ～

#### ■ 事例報告

〈講師〉 長井 優児 氏 井阪運輸 株式会社 代表取締役社長

〈テーマ〉 『環境に配慮した先進的取り組み』

#### ■ パネルディスカッション

〈テーマ〉 『地域の環境改善と物流効率化の推進を目指して』

〈パネリスト〉 水田 節男 氏 国土交通省近畿運輸局 自動車交通部 貨物課長

大鹿 政雄 氏 尼崎市環境市民局 公害対策課長

大西 研 氏 西宮商工会議所理事・事務局長

本木 時久 氏 生活協同組合 コープこうべ

無店舗事業部 業務改革推進チーム 課長

野村めぐみ 氏 金田運輸株式会社 専務取締役

コーディネーター 小谷 通泰 氏 神戸大学大学院 海事科学研究科 教授



会長あいさつ



パネルディスカッション

## ドライブレコーダ導入助成対象機種が追加されました

- (1) カヤバ工業株式会社      クルマメ    DRE-400  
☆連絡先：関連事業本部    電子機器事業部    営業課      TEL 03-3578-1209
- (2) 株式会社コムテック      アイセーフ    DC-DR250-DROP-002  
☆連絡先：経営企画室      TEL 0561-36-9679

## 安全装置等(バックモニター)導入助成対象機種が追加されました

アールアンドピー株式会社製      「BE-RV200-RA、BE-RV200-RB」



**年末・年始      実施中!**  
**労働災害防止強調運動**

平成21年12月1日～平成22年1月31日

『慣れた作業に見えない危険 リスクアセスメントで 災害予防』

陸上貨物運送事業労働災害防止協会兵庫県支部



兵庫県トラック協会会員の皆様新年あけましておめでとうございます。

こちらは、兵庫県トラック協会女性経営者部会「天狼会」です。

世界経済の不況は底をついたとはいえ、まだまだ予断は許せない状況が続いております。

私たち「天狼会」の会員事業者も不況の波をもろに受け非常に苦しい状況ですが、会員一同はそれに負けず元気に活動しています。

「天狼会」は、本年、設立42周年を迎える長い歴史ある会です。

「天狼会」では、会員増強をテーマに、情報収集の強化・勉強会・親睦会等を通して、会員の経営に対する知識の向上を図って参ります。

毎年、総会を含め年6回の定例会議をはじめ、五ブロック女性経営者交流会（大阪府、京都府、奈良県、福井県）に参加しています。

昨年の定例会では、事務局の太田専務から、「燃料サーチャージについて」、「最近の経済状況について」、「トラック運送業界の近況について」等、最近の経済状況について説明をいただきました。

また、五ブロック女性経営者交流会では、「5Sに学ぶ企業経営」と題し、フリーライター山本健治氏の講演を開催、参加致しました。

本年度は、6月の総会をはじめ、7月には創作書家近藤朱鳳氏を招き「禅」の教えを中心に講演をいただき、講演の後に「言霊」（ことだま）についての説明、また、参加者全員に「氏名と生年月日」から「ひと文字」を書いていただきその理由の説明を受けました。

このような活動を基に、会員一同頑張っています。

### 会員を募集中！！

当会には、素晴らしい個性をお持ちの方々がたくさんおられます。

経営者としても女性としても経験豊かな諸先輩と共に学んで行きませんか。

女性経営者の方、また、経営者とともに歩んでいられるかた、お待ちしております。ぜひ、ご入会ください。

では、兵庫県トラック協会会員の皆様のご健勝をお祈り致しまして、「天狼会のページ」を終わらせていただきます。

天狼会 会長 櫻井典子

ご入会申し込み&お問い合わせは兵庫県トラック協会総務部へ・・・

TEL 078-882-5556 FAX 078-882-5565



問い合わせ先

陸運労災防止協会 兵庫県支部  
(兵庫県トラック協会内)  
電話 078-882-5556

## 講習会のお知らせ

### ◎ フォークリフト運転技能講習会 (31時間講習)

※ 最大荷重1トン以上のフォークリフトの運転（道交法による道路上を走行させる運転を除く）の業務には、都道府県労働局長の登録教習機関で技能講習を修了した方でなければ就業できません。

#### 1. 講習日時・会場

学 科	講 習 日	平成22年 3月 4日(木) 9時～ 8時45分受付
	会 場	(社)兵庫県トラック協会 神戸市灘区大石東町2丁目4-27 ※受講者の為の駐車場はありません。 (公共交通機関を利用して下さい)
実 技	講 習 日	平成22年 3月 6日(土) 8時～ 7時45分受付 3月13日(土) 8時～ 3月14日(日) 8時～
	会 場	神戸港湾教育訓練協会 神戸市中央区港島8-11-3 ※駐車場：有

#### 2. 受講料

	受 講 料	テキスト代	合 計	受 講 資 格
兵ト協 会 員	33,600円 〔内消費税5% 1,600円〕	陸災防兵庫 県支部負担	33,600円 〔内消費税5% 1,600円〕	普通自動車運転免許を 有し、満18歳以上の方。
非会員	33,600円 〔内消費税5% 1,600円〕	1,400円 〔内消費税5% 66円〕	35,000円 〔内消費税5% 1,666円〕	

#### 3. 申込要領

(1) 陸運労災害防止協会兵庫県支部へ定員枠の空き状況を電話で確認し、必ず予約受付を行ってから次の①～④を現金書留で下記申込先に郵送して下さい。

① 受講申込書 (A4サイズにコピーして使用して下さい)

② 証明写真2枚 (サイズ縦3.5cm、横2.5cm)

※ 合格された場合の修了証に使用しますので、サイズは正確に切って下さい。

2枚のうち1枚は、①の受講申込書に貼り付けて下さい。

③ 本籍地を証明できる書類

※ 住民票の写し等（運転免許証に本籍地が記載されている場合は、免許証のコピーでも可）

④ 受講料

（申込先）

〒657-0043 神戸市灘区大石東町2丁目4-27 兵庫県トラック協会内  
陸運労災防止協会兵庫県支部  
電話 (078) 882-5556

※ 持参される場合の受付時間は、10時～16時（12時～13時は除く）。

(2) 納入された受講料は、受講票を発行した以後は、一切返金できません。  
受講票は、講習会初日の約5日前程度に所属事業場宛てに郵送いたします。

(3) 予約受付及び申込書受付期間

平成22年2月1日(月)～平成22年2月24日(水) 必着

ただし、期間にかかわらず定員（50名）に達ししだい締め切ります。

4. 修了証

法定の講習時間を受講し、学科実技共、修了試験に合格した方には修了証を交付いたします。

4日のうち1日でも欠席の場合は不合格となります。

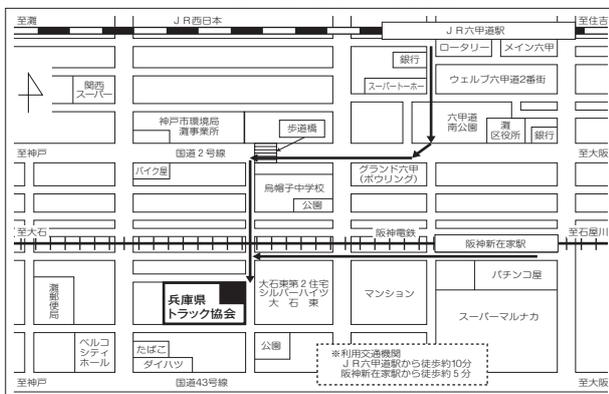
5. 持参品

学科講習日：受講票・筆記具（えんぴつ・消しゴム）

実技講習日：受講票・ヘルメット・安全靴・作業服（長そで：運転の際は長そでで行います）・カッパ（雨天の場合でも実施致します）

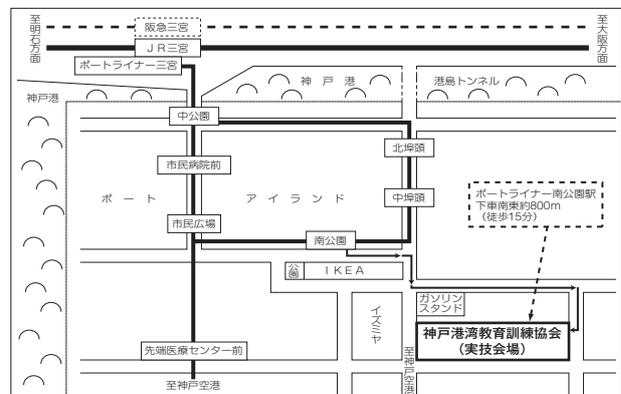
学 科 会 場  
(社)兵庫県トラック協会

神戸市灘区大石東町2丁目4番27号  
TEL (078) 882-5556



実 技 会 場  
神戸港湾教育訓練協会

神戸市中央区港島8-11-3



# フォークリフト運転技能講習会

受講申込書

修了証台帳

証明写真を  
貼付して下  
さい。  
縦3.5cm  
横2.5cm

ふりがな		性別		※
氏名		男 ・ 女	修了証 番号	
生年月日	昭和 年 月 日生	交付年月日		※
現住所 (修了証に載ります)	〒  電 話 (携帯電話)		本籍	都道府県
勤務先	所在地	〒  電 話	F A X	
	名称			
所持する自動車 運転免許証	1. 大型特殊(カタピラ限定なし) 2. 大 型 3. 中 型 4. 普 通 5. 大型特殊(カタピラ限定付) (注)所持する免許に○を付けて下さい	免許証番号		
		取得年月日	年 月 日	
		発行者	公安委員会	
ここに自動車運転免許証のコピーを貼付して下さい。		平成 年 月 日		
		受講者氏名 <span style="float:right">㊟</span>		
書替・再交付年月日	※ 年 月 日			

(注) ※以外は申込者において全部記載すること。

ご記入いただいた個人情報は、当講習会の実施及び修了証交付の為にのみ使用します。

## 燃 料 価 格 情 報

軽油「元売別」購入価格表（平成21年11月末現在）

（単位：円／ℓ）

区分 元売名	ローリー	組 合	カ ー ド	スタン
	平 均	平 均	平 均	平 均
新 日 本	84.48	88.74	95.20	86.28
出 光	84.97	91.00	91.27	91.00
J エナジー	104.20		87.70	89.63
コ ス モ	84.77	86.74	92.57	93.75
昭和シェル	85.25			87.00
モ ー ビ ル	84.50		92.00	
エ ッ ソ	84.81		92.00	100.50
そ の 他	86.37	87.94	91.50	91.67
総 計	85.73	88.15	92.48	91.15
21 / 10	全国平均	83.89	調 査 な し	89.44
	近畿平均	83.31		90.86

兵ト協  
調 べ

全ト協  
調 べ

（消費税抜き）

軽油価格年間推移表（兵ト協調べ）

（単位：円／ℓ）

区分 集計月	ローリー	組 合	カ ー ド	スタン
	平 均	平 均	平 均	平 均
平成20年12月	97.71	109.93	115.63	110.09
平成21年 1 月	86.80	90.96	102.81	98.29
平成21年 2 月	77.65	82.01	91.24	86.33
平成21年 3 月	73.00	75.91	85.54	81.64
平成21年 4 月	71.15	73.88	83.05	81.06
平成21年 5 月	73.73	75.90	84.25	81.93
平成21年 6 月	74.72	77.00	86.09	81.87
平成21年 7 月	76.19	78.70	86.56	84.30
平成21年 8 月	80.42	81.64	87.57	88.38
平成21年 9 月	82.87	84.27	89.40	86.86
平成21年10月	84.57	86.77	92.63	92.48
平成21年11月	82.43	86.87	91.32	90.37
平成21年12月	85.73	88.15	92.48	91.15
年 間 平 均	80.53	84.00	91.43	88.83

※前月分の価格データを集計しています。

（消費税抜き）

**“軽油は兵庫県下で買いましょう”**  
（県からの補助金に大きく影響します）

# 会 員 だ よ り

## 入会届

入会年月日	支部名	種別	会社名	代表者名	主たる連絡先
21.11.17	東神戸	一般	(株)ドルフィン	樽井啓子	〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町27-6 ☎ 078-413-0189 FAX 078-413-0157
11.25	北播	一般利用	(株)大浦牧場	大浦一平	〒675-0321 加古川市志方町志方町294番地の1 ☎ 079-452-5233 FAX 079-452-5233
12.15	西宮	一般利用	(株)ユーパワーロジ	上田勝嗣	〒663-8227 西宮市今津出在家町9-20 ☎ 0798-33-8151 FAX 0798-22-2194

## 退会届

退会年月日	支部名	種別	会社名	代表者名	備考
21.11.26	神戸中央	一般	(有)コンテナ神戸物流	蛤谷義之	休止のため
11.26	西播	一般	(株)アスリート	宮川誠也	事業廃止
12.1	東神戸	一般利用	浪速運送(株)	東宏剛	兵庫県廃止
12.7	東部	一般利用	(株)豊川運輸	豊川正石	休止のため
12.10	明石	一般	井倉運輸(株)	林田昌吾	兵庫県廃止
12.15	丹有	一般	若林運送(株)	若林竹光	兵庫県廃止
12.18	西播	一般	(有)矢能建運	矢能日出男	事業廃止

## 変更届

届出年月日	会員名簿 ページ数	変更事項	(旧)	(新)
21.11.13	P.32	譲渡譲受 (住所・代表者 TEL・FAX)	第一運輸作業(株) 〒663-8226 西宮市今津港町2-30 磯野和典 ☎ 0798-22-3301 FAX 0798-33-4580	第一運輸作業(株) 〒662-0934 西宮市西宮浜2丁目11-1 磯野五郎 ☎ 0798-38-8160 FAX 0798-22-7731
11.20	P.98	代表者	明治運輸(株) 洞正夫	脇村照彦
12.2	P.184	代表者	(株)姫路ロジスティクス 永井康彦	永井敬裕

21.12.4	P.188	代 表 者	丸 石 (株) 葛 城 成 美	本 岡 智 之
12.7	P.29	住 所	(有) 石 山 〒665-0823 宝塚市安倉南2丁目15-19	〒664-0028 伊丹市西野5丁目165-1
12.8	P.12	名 称	埠 頭 運 輸 (株)	田 中 運 輸 (株)
12.14	P.37	代 表 者	リ キ 産 業 (有) 博 田 昌 明	博 田 英 三
12.17	P.30	代 表 者	カトーロジスティクス(株) 會 和 正 弘	近 藤 克 文

————— \* ————— \* —————

## 会 員 名 簿 正 誤 表

この度、会員名簿作成において一部記載事項に誤りがあり、会員の皆様にご迷惑をお掛けしましたこと心よりお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正いたします。

Page	支 部	会 社 名 役 員 氏 名	正	誤
P.58	東神戸	大阪サンエー物流(株)	代表者 小 俣 庄 市	代表者 大 石 一 實
P.17	東 部	北 摂 運 輸 (株)	住所 〒666-0015 川西市小花1丁目15-2	住所 〒666-0017 川西市火打1-15-2
P.17	東 部	北 摂 運 輸 (有)	F A X 072-758-1157	F A X 072-757-5855



## ご協力ありがとうございました

交通遺児の募金を寄せられた会員

(平成21年12月22日現在)

H21・12・8	阪神物流サービス(株)	11,960円
12・22	(株) シ ョ ー ゼ ン	22,243円

### 交通遺児募金の郵便振替口座

○口 座 番 号	01170-6-54803
○口 座 名	社団法人 兵庫県トラック協会募金係

## およろこび

平成21年度「エコドライブコンテスト」において、株式会社新宮運送が「環境大臣表彰」を受賞されました。



### 「エコドライブコンテスト」とは

世界的に環境への配慮が問われている今、温室効果ガスの代表である二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）や、自動車から排出される窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）及び浮遊粒子状物質（SPM）の排出を削減することが急務となっています。そこで、環境省・独立行政法人環境再生保全機構が、全国の自治体と協力して様々な環境対策に取り組んでいます。その一環として、優秀なエコドライブ活動に取り組む事業所を表彰しています。

このコンテストは、エコドライブ活動が全国に普及することを目的とし、自動車を運転するドライバーと、その自動車を保有する企業の共働によって大気汚染の防止を継続的に推進することを目指しています。

